

事 業 評 価 書

補助事業名	小牧基地関連公共用施設元町区集会施設整備事業						
補助事業者名	小牧市長						
実施場所	小牧市元町一丁目120番地						
補助事業の成果の目標	<p>元町区集会施設は、元町区のコミュニティ活動の拠点として年間約100日使用しており、本集会施設を引き続き使用することは元町区民の地域の交流及び健康増進を図る上で不可欠なものであるが、35年前に整備したものであり、各所に段差があるなど高齢者や身体障がい者が安全かつ快適に使用するため改善を要する状況にある。</p> <p>また、空調設備についても、耐用年数を経過しており、引き続き安定的に使用するためには、当該設備の更新が必要となっているところである。</p> <p>このため、本集会施設の改修（バリアフリー化、空調設備の更新等）を行い、高齢者や身体障がい者が安全かつ快適に利用できる環境を整え、今後も安定的に使用できるように措置することで、元町区民の地域の交流及び健康増進に資する環境を整備する。</p> <p>また、改修工事に併せて太陽光発電設備を設置し、環境にやさしい施設としての整備を行う。</p>						
補助事業の内容	集会施設整備						
補助事業の始期及び終期	平成26年度						
事業費及び交付金額		24年度	25年度	26年度	27年度 予定	28年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額			28,404,000			28,404,000
				27,523,000			27,523,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>集会施設が改修されたことにより、利便性が向上し、引き続き安定的に利用できる環境が整った。利用者にアンケート調査を実施したところ「トイレが綺麗になった」「トイレが男女別になって良かった」との意見が寄せられ、元町区集会施設の利便性が向上したとの結果を得られた。</p> <p>また、工事中の立て看板、工事のお知らせ（回覧）に防衛省交付金事業である旨を記載し、周知を行った。</p>						
事業の改善策及び今後の対応	今後とも地域住民の事業理解を得ながら事業を実施						
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

注：1 基金事業の場合には、事業費及び交付金額の欄に、年度ごとの基金造成額（交付金・市町村費等・その他・運用益・計）、基金処分額及び基金残額についても記載すること。

2 事業の評価に際して第三者機関を活用した場合は、当該第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。